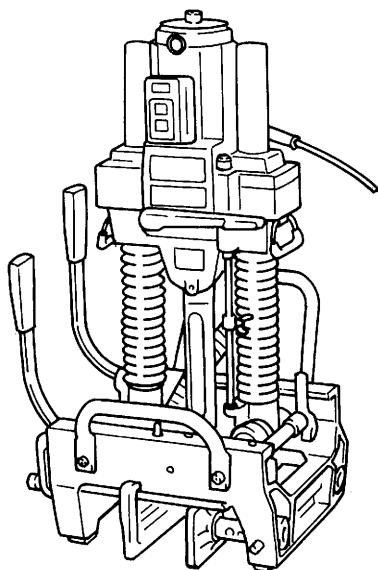


Makita

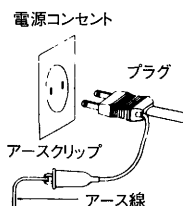
自動カクノミ

モデル 7001

取扱説明書



本機はシングル絶縁構造ですので必ず接地
(アース)してください。



このたびは マキタ自動カクノミを お買い上げ
賜り厚くお礼申し上げます。

ご使用に先だち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



主要機能

電 動 機		直巻整流子電動機
電 圧		単相100ボルト
電 流		12アンペア
周 波 数		50—60ヘルツ
消 費 電 力		1,150ワット
回 転 数		毎分800回転
最大切込み深さ(ノミ先端)		130mm
最大加工材料幅		183mm
角 ノ ミ 移 動 量	長手方向	 120mm
	横 方 向	 120mm
重 量		29kg

- ・改良の為、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠ 警告 ⚠ 注意 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠ 警告 と ⚠ 注意 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、⚠ 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 : 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

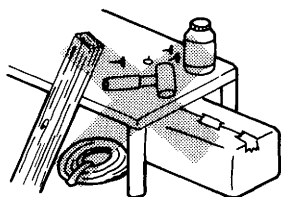
- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

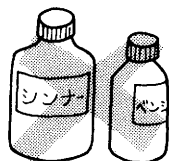
2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

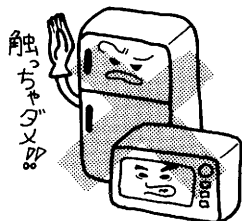
- 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



4. 感電に注意してください。

- 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。

(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)



⚠ 警 告

5. 子供を近づけないでください。

- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

7. 無理して使用しないでください。

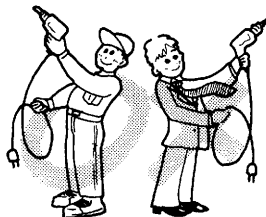
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

8. 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

9. きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。



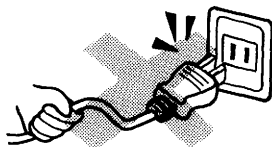
10. 保護めがねを使用してください。

- 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。



11. コードを乱暴に扱わないでください。

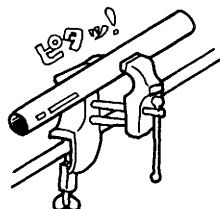
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



⚠ 警 告

12. 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



13. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

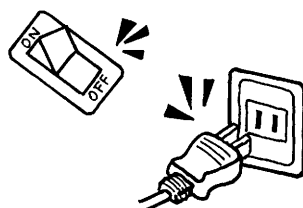


14. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

15. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。



16. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

17. 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

18. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 警 告

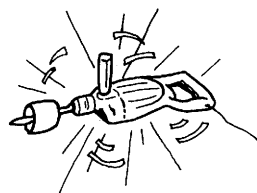
19. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。



20. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。



- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行なってください。
- スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

21. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

22. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

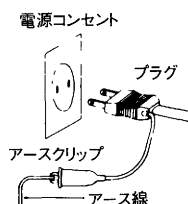
カクノミ安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、カクノミとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警 告

1. 必ず接地（アース）してください。

- 故障や漏電のときに感電する原因になります。
 - 接地は、プラグの横からでているアースクリップをアース線に接続してください。
 - アースクリップやアース線に異常がないか確認してください。
- テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたらアースクリップと機械本体の金属部（外部）間の導通を確認してください。



- アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店に相談してください。
- 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に接続されますことをおすすめします。
- 漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。

労働安全衛生規則

第333条・第334条

電気設備の技術規準

第18条・第28条・第41条

2. アース線をガス管に接続しないでください。

- 爆発の恐れがあります。

3. つなぎコードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。

- アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。

4. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。

- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となりけがの原因になります。

5. 使用中は、機体を確実に保持してください。

- 確実に保持していないと、けがの原因になります。

6. 切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。

- 台が不安定ですと、けがの原因になります。

7. 使用中は、切粉排出口に指などを入れないでください。

- 回転しているキリに触れ、けがの原因になります。

8. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が生じたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検、修理を依頼してください。

- そのまま使用していると、けがの原因になります。

⚠ 警 告

9. 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
10. 使用中は、軍手など手袋を着用して使用しないでください。
 - キリに巻き込まれ、けがの原因になります。
11. 木材に、釘や砂などの異物がないことを作業前に十分確かめてください。
 - 刃物を破損させ、事故の原因になります。

⚠ 注 意

1. 角ノミや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - 確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - けがの原因になります。
3. 角ノミの取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
 - 不用意に扱うと、切り傷の原因になります。
4. 使用直後の刃物は高温になっていますので、触れないでください。
 - やけどの原因になります。
5. 角ノミの交換は、角ノミ取付ボルトを十分に締め付けてください。
 - ボルトがゆるむと、思わぬけがの原因になります。
6. スイッチを切った後も、惰性で回転している角ノミに注意してください。
 - 手などが触れると、けがの原因になります。

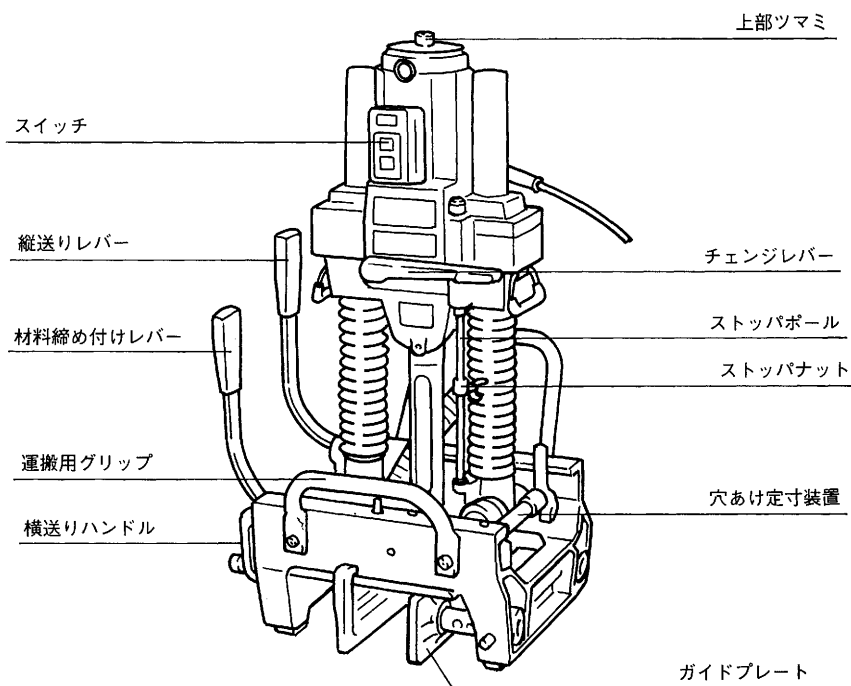
注

電源が離れていてつなぎコードが必要なときは、機械を最高の能率で故障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ(公称断面積)と最大長さの関係

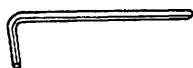
コードの太さ(導体公称断面積)	コードの最大長さ
1.25mm ²	10m
2.00mm ²	20m

各部の名称および通常付属品



通常付属品

- 六角棒スパナ



- 調整用ワッシャ (角ノミ調整用)

- 角ノミ 取付定規

- 30mm角ノミ
(本機取り付け)

特別付属品(別販売)のご紹介

• 角ノミテーブル

110mm角材まで使えます。

本体脚部に取りつけければバリを生じることなく一方向からの貫通穴あけ加工ができます。

• 角ノミ取り付け具

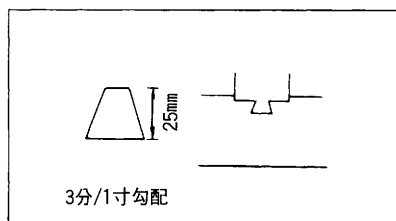
6 mm・9 mm用があります。

• 角ノミ

寸法 (mm)	最大切込み深さ (ノミ先端) mm
※ 6	45
※ 9	68
15、16.5 18、21 24、27 30	130

※印の角ノミは角ノミ取り付け具が必要です。

• アリノミ



アリ溝加工に上記寸法のものを用意しております。

• 角ノミ研磨器具

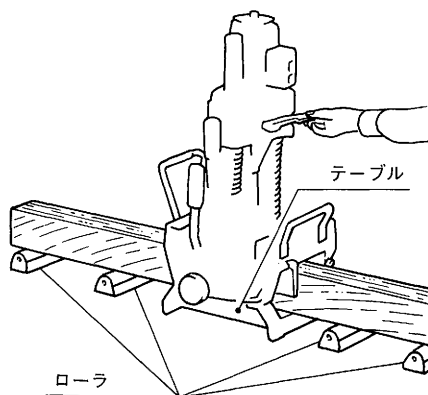
(研磨用モータカバー＋研磨砥石)

※研磨砥石は単品でも販売しています。

• ローラ 1組 (4ヶ)

本機を固定し材料を動かす場合に使用します。必要に応じて写真のように、本体脚部に特別付属品の角ノミテーブルを使用してください。

ローラ下部には取付用穴がありますので、適当な厚さの木材に木ネジなどで取り付けてご使用ください。



角ノミの取り付け、取りはずし方

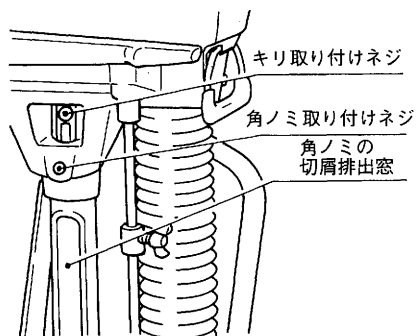
！ 警 告

角ノミの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

- プラグを電源につないだまま行くと、事故の原因になります。

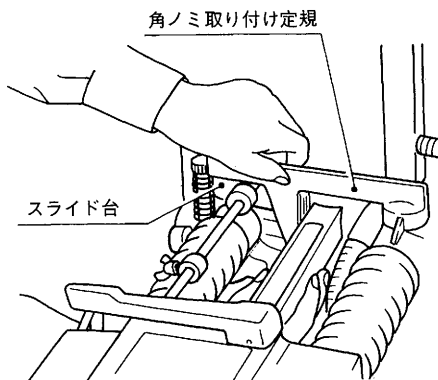
取り付け方

- 角ノミの切屑排出窓を正面にし角ノミを止まるまで入れ、角ノミ取り付けネジを仮り締めしてください。



- 角ノミ取り付け定規をスライド台に当て角ノミが定規と合った位置で角ノミ取り付けネジを六角棒スパナで締め付けてください。
- 本機の上部ツマミを回しキリ取り付けネジが正面にくるようにしてください。

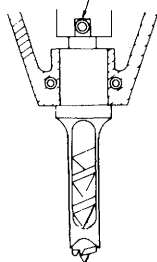
キリ上部のピンが駆動軸の溝部の上端に接するまで入れ、キリ取り付けネジを六角棒スパナで締め付けてください。



ピンが、溝部の上端に接するように

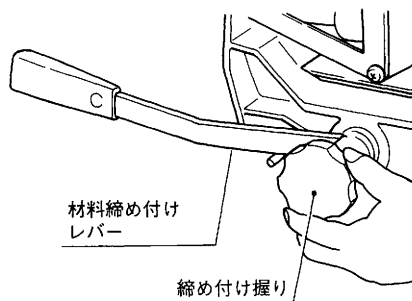
取りはずし方

- 角ノミを取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で行なってください。



材料への取り付け

- 刃物が材料を突き抜けた時の保護のため、十分な大きさの枕木を平坦な場所におきその上に材料をのせ作業してください。
- 材料締め付けレバーを後に倒した状態で、あらかじめ本機のバース部幅を材料幅より若干広くセットしてから材料にのせてください。
- ガイドプレートと材料が接するようにしてください。締め付け握りで材料を仮り締めしたのち、材料締め付けレバーを手前に引いて材料に固定してください。

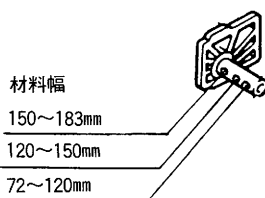
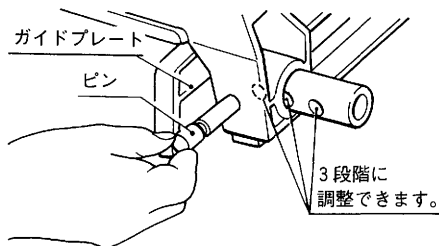


ガイドプレートの位置調整

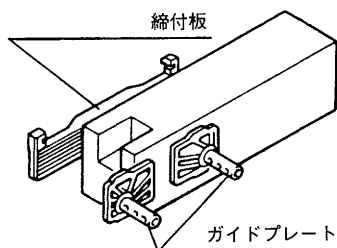
- ガイドプレートはピンを差し込む穴の位置により、3段階に調整できます。材料の幅に応じて調整してください。

注

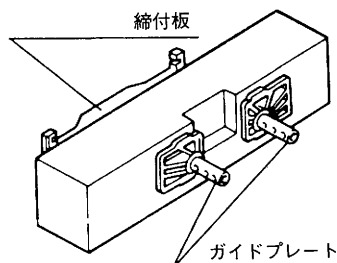
- 木材が曲っている場合は締付板の曲りを防ぐため木材の凸側に締付板を当てるようにしてください。



- 木口加工はガイドプレートを右図のようにしてください。

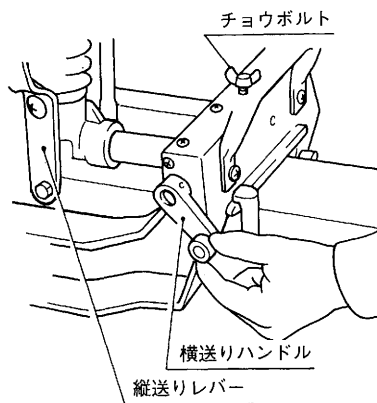


- 切り欠き加工はガイドプレートを右図のようにしてください。



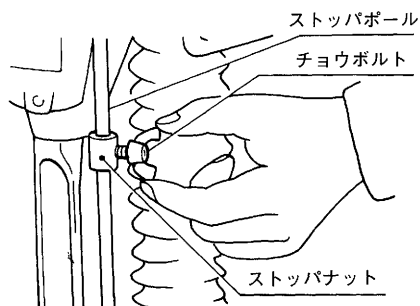
角ノミの移動

- 前後方向は縦送りレバーで、左右方向は横送りハンドルで操作します。左右の動きを固定させるにはチョウボルトで締め付けてください。

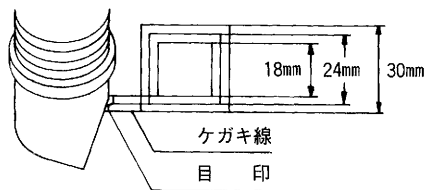


穴あけ深さの調整

- ストップナットのチョウボルトをゆるめ、希望の位置にストップナットを動かし、チョウボルトを締めて固定してください。
この場合ストップボールの平面部にチョウボルトが当るようにしてください。

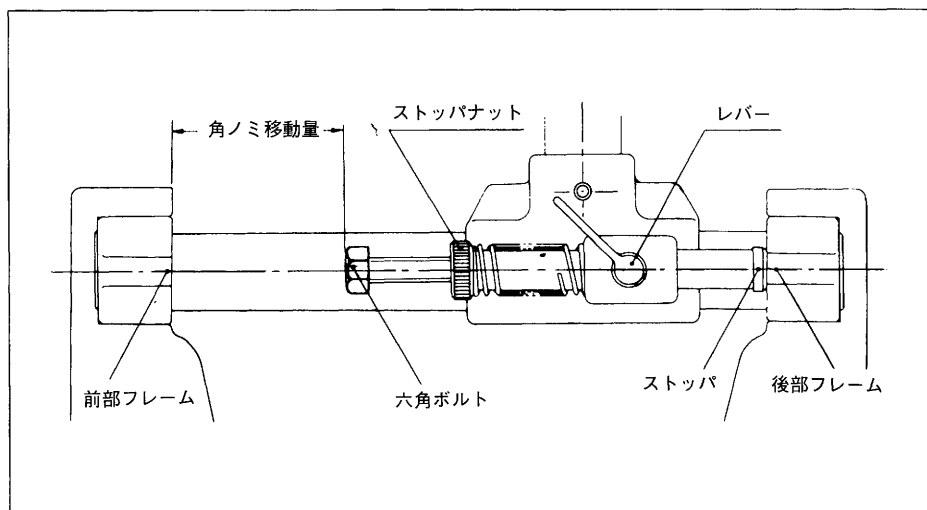


- 角ノミをケガキ線に合わせるには、右図のように目印をケガキ線に合わせてください。



穴あけ定寸装置の使い方

- ① ストッパーが後部フレームに接した状態で六角ボルトを調整し、角ノミ移動量（希望加工穴寸法からノミ寸法を減じたもの；30mmノミで90mmの長穴をあける場合は $90 - 30 = 60\text{mm}$ ）を設定してください。
調整後ストッパナットを締め付けてください。
- ② レバーをゆるめた状態にし、角ノミを手前のケガキ線に合わせてください。
（この時、六角ボルトが前部フレームに接しているようにしてください。）
- ③ レバーを後方に倒して定寸装置を固定させ、そのままの位置で穴あけをします。次いで順に後方へストッパが後部フレームに当たる（縦送りレバーが動かなくなる）まで穴あけしてください。
- ④ 穴あけが完了しましたら、次の穴あけ位置にしてください。以後は②～④を繰り返すのみで同寸法の穴あけができます。



スイッチの操作

警 告

電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動き出し事故の原因になります。

- スイッチは「ON」のボタンを押すと入り、「OFF」のボタンを押すと切れます。

加工方法

- スイッチを入れ回転が一定になってから、チェンジレバーを下にすれば穴あけができ、上にすれば本機が上にあがってきます。
本機がストッパナットにあたれば、本機の下降は中断されます。
- チェンジレバーは軽く動かし、動かした方向へ軽く押えていてください。

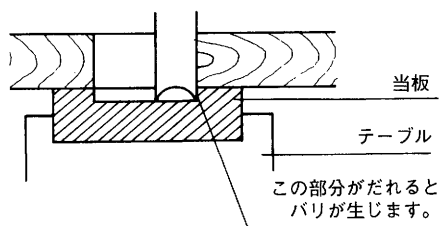
注

- チェンジレバーの上下への急激な操作は故障の原因になりますのでさけてください。
- 切り欠き加工時には、角ノミがガイドプレートに当たらないよう注意して穴あけを行ってください。

特別付属品(別販売)の使い方

角ノミテーブル

- ①本体脚部に4本のボルト、ナットで取り付けてください。
- ②付属の当板は100mm角材に合わせてあります。これ以外の寸法の材料に穴あけ加工する場合は、材料を入れる部分の高さが材料より5mm程高くなるような板厚のものを作りご使用ください。(締め付けレバーで木材を締め付け加工される場合は、このままご使用頂けます。)
- ③材料を当板の上におき、締め付け握りで軽く材料を締め付け、穴あけ加工を行なってください。
- ④当板の角穴のフチがだれてきますとバリが発生しますので交換してください。
- ⑤ノミを一番下まで下げますと、ノミがテーブルに当り破損しますのでストッパー設定位置には注意してください。



警告

といしにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。

- ・ 異常があると、といしが破壊し、けがの原因になります。

誤って落としたり、ぶつけたときは、といしや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

- ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当たらないようにしてください。

- ・火災ややけどの原因になります。

注意

工具類(といしなど)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

- ・ 確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。

新しいといしを取り付け、はじめてスイッチを入れるときは、といしの露出部から一時身体を避けてください。

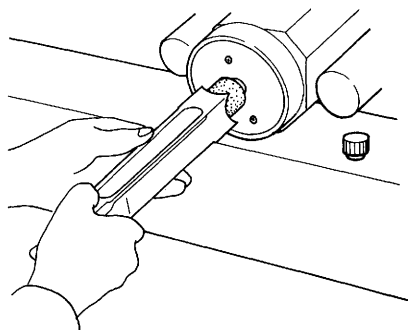
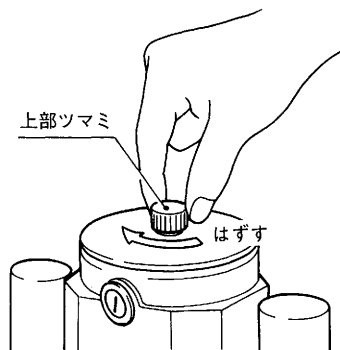
- ・といしが破壊したとき、けがの原因になります。

試運転を励行してください。

試運転時間は { といし交換のとき…………… 3 分間以上 } です。
{ その目の作業始めのとき… 1 分間以上 } です。

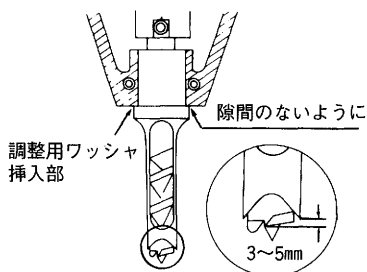
- ・試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。

- 研磨前に直径 5 mm 位の鉄棒などで、キリについているピンをたたいて抜き、角ノミの中のキリを抜いてください。
- 六角棒スパナをキリ取り付けネジに差し込んで軸が回らないように固定し、上部ツマミを右へ回してはずしてください。
- ネジ回しなどを研磨砥石の穴に差し込み、左へ回して研磨砥石をしっかりと取り付けてください。
- 研磨用モータカバーを取りつけてください。
- 本機を倒し、3 分以上無負荷運転し異常のないことを確認してください。この場合、事故を防ぐため砥石から十分離れていてください。
- 角ノミを研磨するときは、→角ずつ研ぎ一度に 4 つの角を研がないようにしてください。刃先の研磨角度や研磨仕上程度によって切れ味が大きく変化しますので、初期の刃先形状を保つように注意してください。
- 研磨が終了したら、角ノミの穴部にキリを通し元通りにピンを打ち込んでください。



注

- 刃先が焼ける恐れのある場合には、時々、角ノミを水で冷やしてください。
- キリが角ノミより 3～5 mm 出ている状態が最適です。角ノミを研磨して短くなった場合は、調整用ワッシャを角ノミに組み込んで使用してください。



保守・点検について

⚠ 警 告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- プラグを電源につないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

カーボンブラシの交換

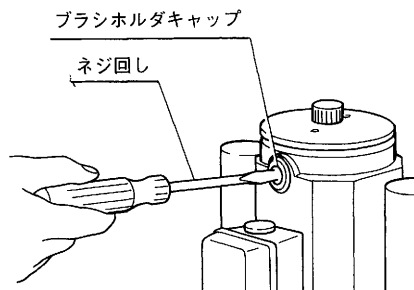
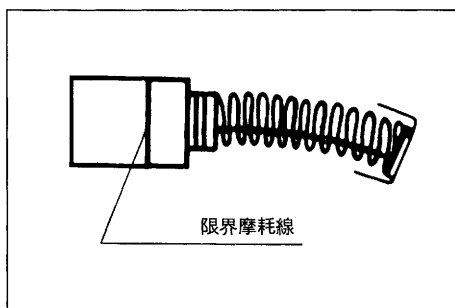
- カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。

カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。

新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。

- ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。

カーボンブラシは2コで1組になっております。取り替える場合は、必ず同時に行なってください。



注油

- 作業後は機械についた塵埃を取り除き、回転部、摺動部には油切れにならないように注油してください。

ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い求めのマキタ電動工具登録販売店または裏面掲載の最寄りのマキタ直営事業所にお申しつけください。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	足立営業所	(03) (3899) 5855	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
札幌営業所	(011) (783) 8141	大田営業所	(03) (3763) 7553	関西物流センター	(0725) (46) 6715
旭川営業所	(0166) (29) 0960	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
釧路営業所	(0154) (37) 4849	多摩営業所	(042) (384) 8411	奈良営業所	(0742) (61) 6484
函館営業所	(0138) (49) 9273	立川営業所	(042) (542) 1201	橿原営業所	(0744) (22) 2061
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	横浜支店	(045) (472) 4711	和歌山営業所	(073) (471) 4585
帯広営業所	(0155) (36) 3833	横浜営業所	(045) (472) 4711	田辺営業所	(0739) (25) 1027
北見営業所	(0157) (26) 9011	川崎営業所	(044) (811) 6167	沖縄営業所	(098) (874) 1222
仙台支店	(022) (284) 3201	平塚営業所	(0463) (54) 3914	兵庫支店	(0794) (82) 7411
仙台営業所	(022) (284) 3201	相模原営業所	(042) (757) 2501	三木営業所	(0794) (82) 7411
古川営業所	(0229) (24) 0698	湘南営業所	(0466) (87) 4001	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
青森営業所	(017) (764) 4466	静岡支店	(054) (281) 1555	神戸営業所	(078) (672) 6121
八戸営業所	(0178) (43) 3321	静岡営業所	(054) (281) 1555	姫路営業所	(0792) (81) 0204
盛岡営業所	(019) (635) 6221	沼津営業所	(055) (923) 7811	広島支店	(082) (293) 2231
水沢営業所	(0197) (22) 5101	浜松営業所	(053) (464) 3016	広島営業所	(082) (293) 2231
郡山営業所	(024) (932) 0218	甲府営業所	(055) (276) 7212	福山営業所	(084) (923) 0960
いわき営業所	(0246) (23) 6061	金沢支店	(076) (249) 5701	三原営業所	(0848) (64) 4850
新潟支店	(025) (247) 5356	金沢営業所	(076) (249) 5701	岡山営業所	(086) (243) 4723
新潟営業所	(025) (247) 5356	七尾営業所	(0767) (52) 3533	宇都宮営業所	(0836) (31) 4345
長岡営業所	(0258) (30) 5530	富山営業所	(076) (451) 6260	徳山営業所	(0834) (21) 5583
山形営業所	(023) (643) 5225	高岡営業所	(0766) (21) 3177	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
酒田営業所	(0234) (26) 3551	福井営業所	(0776) (35) 1911	松江営業所	(0852) (21) 0538
秋田営業所	(018) (863) 5205	岐阜支店	(058) (274) 1315	高松支店	(087) (841) 2201
宇都宮支店	(028) (634) 5295	岐阜営業所	(058) (274) 1315	高松営業所	(087) (841) 2201
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	多治見営業所	(0572) (22) 4921	徳島営業所	(088) (626) 0555
小山営業所	(0285) (25) 5559	松本営業所	(0263) (25) 4696	松山営業所	(089) (951) 7666
水戸営業所	(029) (248) 2033	長野営業所	(026) (225) 1022	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
土浦営業所	(029) (821) 6086	上田営業所	(0268) (22) 6362	高知営業所	(088) (884) 7811
関東物流センター	(048) (771) 3451	飯田営業所	(0265) (24) 1636	福岡支店	(092) (411) 9201
埼玉支店	(048) (771) 3462	名古屋支店	(052) (571) 6451	福岡営業所	(092) (411) 9201
さいたま営業所	(048) (777) 4801	名古屋営業所	(052) (571) 6451	北九州営業所	(093) (551) 3481
川越営業所	(049) (222) 2512	一宮営業所	(0586) (75) 5382	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
熊谷営業所	(048) (521) 4647	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	久留米営業所	(0942) (43) 2441
越谷営業所	(0489) (76) 6155	知多営業所	(0569) (48) 8470	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
前橋営業所	(027) (232) 5575	岡崎営業所	(0564) (22) 2443	長崎営業所	(095) (882) 6112
高崎営業所	(027) (365) 3688	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
両毛営業所	(0276) (46) 7661	四日市営業所	(0593) (51) 0727	熊本支店	(096) (389) 4300
千葉支店	(043) (231) 5521	津営業所	(059) (232) 2446	熊本営業所	(096) (389) 4300
千葉営業所	(043) (231) 5521	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	八代営業所	(0965) (43) 1000
市川営業所	(047) (328) 1554	京都支店	(075) (621) 1135	大分営業所	(097) (567) 3320
成田営業所	(0478) (73) 8101	京都営業所	(075) (621) 1135	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
木更津営業所	(0438) (23) 2908	福知山営業所	(0773) (23) 7733	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
柏営業所	(04) (7175) 0411	大津営業所	(077) (545) 5594	沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	(03) (3816) 1141	彦根営業所	(0749) (22) 6184		
東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6351) 8771		
中野営業所	(03) (3337) 8431	大阪営業所	(06) (6351) 8771		

881191E4

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)